

枠・建具のユニットを使うことで施工高が 500 万円向上

大工は高齢化でリタイアする人が増え、なり手も不足しているため数年後には現在の半数になるという予測が出ている。大工を補充することはなかなか難しい中、手間の掛かる加工をイマガワが負担することで人数の減少を補えるのではないのでしょうか。

枠加工を済ませて納入するので完工高が年間500万円アップする

通常は大工が素材を削り、寸法カット、組み合わせ部の仕口加工、さらにビス穴開けをおこなっている。引き戸の場合は鴨居・縦方立・中方立・トメ・敷居と形状と仕口の違う5種類の加工があり相当時間が掛かる。日本の住宅の平均は引き戸7ヶ所、開き戸1ヶ所、クローゼット2ヶ所の合計10ヶ所で加工に大工が3~4人役が必要です。30坪の家の大工工数をおおよそ75人とすると建具枠加工に費やされる作業はで**5%**です。当社が加工済みの枠を納入すると2500万の家を作る場合は $2500万 \times 5\% = 125万$ 、年間4棟施工すると**500万の施工能力が上がります**。すべての部材の含水率検査や品質チェックをおこなっているので割れ不良が出ることもなく、選別の必要もありません。

